

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	第15回朝霞市総合計画策定委員会	
開催日時	令和7年5月9日（金） 午前10時40分から 午前11時13分まで	
開催場所	朝霞市役所 別館3階 市長公室	
出席者及び 欠席者の 職・氏名	<p><b>【出席者】</b>  又賀市長公室長、千葉危機管理監、金子総務部次長兼財政課長、  紺清市民環境部長、佐藤福祉部長、堤田こども・健康部長、  村沢審議監兼まちづくり推進課長、田中会計管理者、益田上下水道部長、  稲葉議会事務局長、福士学校教育部長、  奥山生涯学習部長、小笠原監査委員事務局長</p> <p>（事務局）  櫻井市長公室次長兼政策企画課長、齋藤同課主幹兼課長補佐、  山本同課長補佐、伴仲同課政策企画係主査、下川同課同係主任</p> <p><b>【欠席者】</b>  松岡都市建設部長</p>	
議題	1 第13回総合計画審議会における意見及び対応について 2 第6次朝霞市総合計画（素案）について 3 その他	
会議資料	<b>【資料1】</b> 第13回総合計画審議会における意見及び対応 <b>【資料2】</b> 第6次朝霞市総合計画（素案）	
会議録の 作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の 当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁	

傍聴者の数	—
その他の 必要事項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【開会】

【議題】

1 第13回総合計画審議会における意見及び対応について（報告）

【説明】

（事務局：伴仲政策企画課政策企画係主査）

4月25日に開催した、第13回総合計画審議会において頂いた意見と、その対応について、主なものを報告する。

資料1「第13回総合計画審議会における意見及び対応」をご覧ください。

総論から順番に説明する。

「1 総論」については、No.2、「もう少し市民参画について書き込みを増やした方がよいのではないか。」との意見を頂いた。今後の対応として、市民コメントでも同様の意見が多かった場合は、改めて記載内容について検討することとした。

次に、「2 基本計画」については、No.2、「成果指標のあるべき姿として、「成果指標は、事業の進捗状況を見るための様々な数字の1つに過ぎず、この指標の達成が事業の最終目標ではない」と追記してはどうか」との意見を頂いた。

この考えは、市職員にも重要な視点であることから、基本計画の序章に「前期計画の見方」を新たに設け、その中で成果指標のあるべき姿について記載した。

次に、No.3、「前期基本計画の政策分野の一つである「基本構想を推進するために」についてだが、「基本構想を推進するために」と各章の冒頭にある「この章の施策の推進方針」と混同してしまうので、建付けや名称について検討が必要なのではないか」との意見を頂いた。

意見を踏まえ、政策分野の「基本構想を推進するために」を「政策を推進する取組」に、「この章の施策の推進方針」を「基本構想（将来像実現のための基本方向）とこの章の施策のつながり」に変更した。

なお、「政策を推進する取組」は5つの分野にまたがるものなので、政策分野の建付けについてはそのままとすることを考えている。

次に、具体的な成果指標について頂いた主な意見とその対応について説明する。

No.8、「「ごみ焼却処理施設の稼働率」は、目標値が95%以上となっているが、近年の実績の平均値である98%にした方がよいのではないか」という意見を頂いた。

担当課に確認したところ、修繕等のため施設の稼働を停止する場合があります、年度によって停止期間に変動があるため、目標値は95%のままとしたいと回答があったので、変更はしていない。

次に、No.10「「官民連携による公共空間を活用した取組の来場者数」に「あさかストリートテラスの来場者数」を積算根拠としているが、公共空間の在り方として測る指標を2日間のイベントの人数でよいのか」との意見を頂いた。担当課に検討してもらったところ、「朝霞駅南口駅前通りの歩行者通行量」に変更するとの回答があったので、指標を変更している。

その他として、No.15「行政評価についての項目を小柱レベルで留めるべきでなく、各所管課との整合をとるなど書き込みを増やした方がよいのではないか」との意見があった。

意見を踏まえ、基本計画の序章において、行政評価の仕組みについて、PDCAサイクルにより検証していることを書き加えた。

次に、「3 総合戦略」については、「総合計画と総合戦略との関わりについて、もう少しわかりやすくした方がよいのではないか」との意見を頂いた。意見を踏まえ、第5次総合計画策定時には、総合計画と総合戦略を分けて策定していたものを、第6次総合計画においては、これらを一体化するというを、視覚的に分かるように図示した。

最後に、「4 資料編」についてだが、No.1として、「資料編に成果指標の一覧と説明を入れるべきである」との意見を頂いた。意見を踏まえ、前回の策定委員会で参考資料としてお示しした成果指標一覧を資料編に掲載することとした。

#### 【質疑等】

なし

#### 【議題】

### 2 第6次朝霞市総合計画（素案）について

#### 【説明】

（事務局：山本政策企画課長補佐）

総合計画（素案）について、説明する。

総合計画（素案）については、4月8日の策定委員会及び4月25日の審議会で資料をお示しし、意見を頂いた。また、今回の素案の作成に当たっては、市長公約との関係も整理したので、本日は4月の会議結果と市長公約の関係を踏まえた主な変更点について、説明する。

はじめに、総論について説明する。11ページをご覧いただきたい。

総論に掲載している人口の推移や財政の推移に関する図表について、タイトルの有無が統一されていなかったため、11ページから19ページにある図表にタイトルを表記した。

続いて、基本構想について説明する。36ページをご覧いただきたい。

ページ下部にある、前期基本計画における政策分野のうち「政策を推進する取組」だが、審議会での意見を踏まえ、「基本構想を推進するために」から名称を変更したほか、44ページにも「第4章 政策分野」があるので、併せて変更している。

また、このページ以降、基本計画や資料編においても施策体系や第6章の名称が出ているが、同様に変更をしているので、このあとの説明は割愛する。

続いて、基本計画について説明する。49ページをご覧いただきたい。

新たに、市長公約と進捗管理に関することを記載している。

市長公約については、これまで審議会などにおいて、市長公約の位置付けや関係性について聞かれてきたことを踏まえ、市長公約の実現のための施策については、実施計画に位置付けることで総合計画に反映していくことを記載した。

次に、60ページをご覧いただきたい。

審議会から「成果指標のあるべき姿」について意見を頂いたほか、計画書の見方があると読む際に理解がしやすいと考えたことから、各項目の凡例を交えた「前期基本計画の見方」を掲載した。

次に、64ページをご覧いただきたい。第1章以降、2月の審議会の意見を踏まえ、各章の冒頭に《施策の推進方針》を掲載したが、先ほど報告した「基本構想を推進するために」と混同してしまうとの意見を受けたので、検討の結果、《基本構想（将来像実現のた

めの基本方向) とこの章の施策のつながり》に名称を変更した。

次に、102ページをご覧ください。

「大柱4 地域文化」について、関連するSDGsに「8 働きがいも経済成長も」を位置付けていたが、審議会から「内容的に違和感がある」との意見を頂いたので、所管課で検討した結果、位置付けを外すこととした。

次に、140ページをご覧ください。

中柱3の成果指標として企業誘致件数を設定しているが、「目標値が年度ごとのものか累計のものかわかりづらい」との意見を踏まえ、指標の説明に累計であることを表記した。

次に、154ページをご覧ください。

小柱1の内容について、「これまでの総合計画と比べて市民参画に関する記述が少ないので、もう少し充実してほしい」との意見を頂いたので、検討した結果、協働指針の見直しについて検討することを記載した。

次に、156ページをご覧ください。

中柱2の《現状と課題》に、「効果的な基金の活用」について記載した。これは、市長公約である「市役所など老朽化した公共施設の再開発」との関連で、158ページの左上にある「小柱1 公共施設の計画的な管理・運営」の説明に「将来を見据え、市庁舎などの建替えに向けた検討に着手」する記載を増やしたが、建替えには基金も活用する必要があるため、市長公約との調整で基金の活用を記載した。

続いて、総合戦略について説明する。162ページをご覧ください。

総合戦略については、「内容が薄く、これだけ見ても読み手にとってはわかりづらいのではないか」との意見を踏まえて検討した結果、これまでは総合計画と総合戦略を別々に策定していたが、第6次総合計画の策定に当たっては一体として策定することがわかるよう図示した。

最後に、資料編について説明する。192ページをご覧ください。

前回の会議で資料として示した成果指標一覧について、「資料編にも掲載した方がよい」との意見を頂いたので、新たに成果指標一覧を資料編に掲載した。

#### 【質疑等】

(堤田こども・健康部長)

148ページの第6章のタイトルを「政策を推進する取組」としてしまうと、「人権・多様性の尊重」、「市民参画・協働」、「行財政」の3つのみ取り組むと誤解されてしまうので、「政策を推進するための取組」としてはどうか。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

名称の変更について改めて検討する。

(堤田こども・健康部長)

49ページの市長公約について、少なくとも第6次総合計画期間中に2回選挙があり、選挙の結果によっては総合計画自体を見直すことになるが、何故、このタイミングで市長公約について掲載することになったのか。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

総合計画の策定中に新市長が就任したことや、市長公約と総合計画の関係性について審議会等で意見をいただいていること等を受けて今回は記載することとした。

(益田上下水道部長)

市長公約に掲げてある項目と基本計画を関連付ければよいのではないかと考えている。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

基本計画は、市民からの意見聴取等の結果や、第5次総合計画の振り返り等を踏まえて検討してきたが、一部は公約の内容とかぶる部分もあるが、公約は今後取り組む個別具体的な施策ゆえ、基本計画の下に関連付いている実施計画に位置付けることで対応が可能ではないかと考えている。

(村沢審議監兼まちづくり推進課長)

実施計画に位置付けることを記載すればよいのではないかと考えている。

(益田上下水道部長)

実施計画に位置付ける旨を記載すると強制力がある印象を受けるので、「実施計画において検討していきます」という表現に変えた方がよいのではないかと考えている。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

頂いた意見を踏まえて、表現を再考する。

(堤田こども・健康部長)

156ページの中柱2の《現状と課題》に記載している文章が分かりづらいので、見直した方がよいのではないかと考えている。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

頂いた意見を踏まえ、文章を修正します。

(佐藤福祉部長)

2ページの総論について、計画策定の趣旨として今までの背景を記載しているが、「朝霞市総合計画条例を制定し、それに基づき総合計画の策定を続けている」という経緯も入れた方がよいのではないかと考えている。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

意見を踏まえて、修正を加える。

(佐藤福祉部長)

製本する際に、UDフォントに統一すると、Univoice は取り入れてほしい。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

Univoice については、これまでの通知等で認識しているが、本編に取り入れるとかなり高額な費用がかかるため難しいと考えるが、現行同様、概要版に追加していきたいと考えている。

## 【議題】

3 その他

## 【説明】

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

1点目は、今後の流れについて、説明する。

本日の審議を踏まえ、5月16日(金)に総合計画審議会を開催し、改めて第6次朝霞市総合計画(素案)について意見を頂く。

その後、審議会での意見を踏まえて資料を修正し、5月28日(水)の全員協議会で総合計画(素案)を説明の上、6月中に市民コメントを行いたいと考えている。

また、市民コメントの実施に合わせて市民意見交換会の開催も予定しており、各部の職員にも出席を依頼する予定である。

詳細については、改めてご連絡するので、引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いしたい。

次に、事務連絡の2点目だが、次回の策定委員会についてお知らせする。

次回の策定委員会は、市民コメントの結果を踏まえ、8月上旬頃の開催を予定している。

開催に当たっては、改めて通知を送る。

**【閉会】**